



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月9日

上場会社名 株式会社遠藤製作所
 コード番号 7841 URL <http://www.endo-mfg.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部担当
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 渡部 大史
 (氏名) 石原 睦
 TEL 0256-63-6111

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	9,384	61.4	1,368	—	1,378	—	975	—
2020年12月期第3四半期	5,815	△23.3	△70	—	△77	—	△172	—

(注)包括利益 2021年12月期第3四半期 498百万円 (—%) 2020年12月期第3四半期 △1,011百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	111.52	—
2020年12月期第3四半期	△19.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	19,600	15,631	79.8
2020年12月期	17,964	15,239	84.8

(参考)自己資本 2021年12月期第3四半期 15,631百万円 2020年12月期 15,239百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	51.0	1,750	—	1,750	—	1,250	—	142.89

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期3Q	9,441,800 株	2020年12月期	9,441,800 株
2021年12月期3Q	694,071 株	2020年12月期	694,071 株
2021年12月期3Q	8,747,729 株	2020年12月期3Q	8,742,653 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注)期末自己株式数には、役員株式給付信託(BBT)制度の信託口が所有する当社株式が含まれております(2021年12月期3Q67,200株、2020年12月期67,200株)。また、役員株式給付信託(BBT)制度の信託口が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2021年12月期3Q67,200株、2020年12月期3Q72,276株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種は進展したものの、変異株の再拡大による、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が実施され、依然として経済活動は制限され、先行きに対する不透明な状況で推移いたしました。世界経済におきましては、先進国を中心に経済活動の再開が進んだ結果、回復の傾向はあったものの、国や地域により回復のペースの差が見られました。

このような状況のもと、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の状況でも製品の供給を維持できるよう、サプライチェーンの関係強化及び生産能力の強化を実施し、市場への安定供給に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、ゴルフ関連市場等が好調に推移するなか、新型コロナウイルス感染症による生産への影響を最小限に止めるべく努め、受注に対して安定供給が実施できたこと等により、売上高は93億84百万円（前年同期比61.4%増）となりました。利益面につきましても、ゴルフ関連市場等が好調に推移していることや、昨年の新型コロナウイルス感染症による一部の取引先の操業停止等からの回復を背景に、売上高の増加等により、営業利益13億68百万円（前年同期は70百万円の営業損失）、経常利益13億78百万円（前年同期は77百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益9億75百万円（前年同期は1億72百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）と黒字回復し、大幅な増収増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(ゴルフ事業)

ゴルフ事業につきましては、ゴルフ市場全体が好調に推移しており、当社の受注の増加に伴う、生産の増強及び品質の維持を実施し安定供給に努めました。その結果、売上高45億23百万円（前年同期比62.3%増）、営業利益11億19百万円（同283.3%増）と大幅に増収増益となりました。

(メタルスリーブ事業)

メタルスリーブ事業につきましては、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響による一部の取引先の操業停止等の状況により受注数が落ち込んだものの、当四半期連結累計期間は一部取引先からの受注が回復し、売上高8億3百万円（同52.1%増）、営業利益1億5百万円（前年同期は66百万円の営業損失）となりました。

(鍛造事業)

鍛造事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響や半導体不足等の影響はあるものの、昨年の取引先の操業停止等から生産数が大幅に減少した状況からの回復に加え、主要取引先との関係の強化に努めました。その結果、受注数が一部で回復したこと等により、売上高40億57百万円（前年同期比62.3%増）、営業利益5億12百万円（前年同期は7百万円の営業損失）と大きく増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、196億円となり、前連結会計年度末に比べ16億36百万円増加いたしました。

流動資産は、115億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億6百万円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金、電子記録債権が増加したこと等によるものであります。固定資産は、80億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億29百万円増加いたしました。この主な要因は、投資有価証券が増加したこと等によるものであります。

負債合計は、39億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億44百万円増加いたしました。

流動負債は、28億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億4百万円増加いたしました。この主な要因は、短期借入金、賞与引当金が増加したこと等によるものであります。固定負債は、11億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億59百万円減少いたしました。この主な要因は、長期借入金の減少等によるものであります。

純資産合計は、156億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億92百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の動向を踏まえ、2021年5月11日付公表「業績予想の修正に関するお知らせ」の予想数値を修正しております。

詳細につきましては、本日別途公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は国内外の景気動向に加え、新型コロナウイルス感染症の収束時期や影響範囲等の様々な要因により大きく変動する可能性があり、業績に影響を及ぼす事象が生じた場合に速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,441,217	6,985,747
受取手形及び売掛金	2,238,417	2,532,530
電子記録債権	105,633	275,831
有価証券	—	100,000
商品及び製品	428,151	350,924
仕掛品	377,592	554,484
原材料及び貯蔵品	570,043	705,659
その他	116,076	83,084
貸倒引当金	△12,674	△16,833
流動資産合計	10,264,455	11,571,429
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,905,727	2,650,526
機械装置及び運搬具（純額）	1,600,655	1,691,659
工具、器具及び備品（純額）	131,026	130,973
土地	1,424,899	1,424,157
建設仮勘定	203,755	177,209
有形固定資産合計	6,266,065	6,074,526
無形固定資産		
投資その他の資産	53,607	60,563
投資有価証券	544,400	1,004,032
投資不動産（純額）	239,162	237,370
退職給付に係る資産	528,294	555,195
繰延税金資産	46,445	79,836
その他	21,914	17,957
貸倒引当金	△300	△288
投資その他の資産合計	1,379,917	1,894,104
固定資産合計	7,699,590	8,029,193
資産合計	17,964,046	19,600,623

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	681,508	716,980
短期借入金	100,000	725,000
未払法人税等	89,332	191,714
未払金及び未払費用	351,031	391,249
賞与引当金	100,650	585,878
その他	137,740	253,763
流動負債合計	1,460,264	2,864,586
固定負債		
長期借入金	600,000	400,000
繰延税金負債	165,847	200,951
退職給付に係る負債	380,389	378,512
役員株式給付引当金	25,822	36,069
資産除去債務	49,881	48,780
その他	42,194	39,850
固定負債合計	1,264,135	1,104,165
負債合計	2,724,400	3,968,752
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,788	1,241,788
資本剰余金	1,220,643	1,220,643
利益剰余金	11,735,683	12,605,480
自己株式	△299,246	△299,246
株主資本合計	13,898,869	14,768,666
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△25,611	△23,424
為替換算調整勘定	1,394,548	911,327
退職給付に係る調整累計額	△28,160	△24,698
その他の包括利益累計額合計	1,340,776	863,204
純資産合計	15,239,646	15,631,871
負債純資産合計	17,964,046	19,600,623

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	5,815,369	9,384,592
売上原価	4,937,187	6,746,734
売上総利益	878,181	2,637,857
販売費及び一般管理費	949,115	1,269,478
営業利益又は営業損失(△)	△70,933	1,368,379
営業外収益		
受取利息	16,047	9,329
受取配当金	1,946	1,565
投資不動産賃貸料	9,359	7,928
助成金収入	3,005	37,380
為替差益	4,466	82,821
その他	11,785	29,193
営業外収益合計	46,610	168,219
営業外費用		
支払利息	3,199	2,801
持分法による投資損失	—	30,597
投資不動産賃貸費用	8,404	6,869
投資有価証券評価損	2,290	97,531
投資事業組合運用損	22,143	10,199
その他	16,783	10,301
営業外費用合計	52,821	158,300
経常利益又は経常損失(△)	△77,145	1,378,297
特別利益		
固定資産売却益	30,447	—
特別利益合計	30,447	—
特別損失		
減損損失	9,668	—
特別損失合計	9,668	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△56,365	1,378,297
法人税、住民税及び事業税	122,096	403,623
法人税等調整額	△5,599	△902
法人税等合計	116,497	402,721
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△172,862	975,576
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△172,862	975,576

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△172,862	975,576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,834	2,186
為替換算調整勘定	△822,066	△483,220
退職給付に係る調整額	1,112	3,461
その他の包括利益合計	△838,788	△477,572
四半期包括利益	△1,011,650	498,004
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,011,650	498,004
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算出方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて）

新型コロナウイルス感染症拡大により、市場の低迷、需要の低下から一部の取引先は減産を行い、当社グループはその影響を受けております。

このような状況により、当連結会計年度中は一時的な需要低下があるものの、感染拡大の収束、経済活動再開に伴い、需要は徐々に回復していくと仮定しており、当社は固定資産の減損等の会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は、不確定要素が多いことから、将来における実績値に基づく結果がこれらの見積りと異なる可能性があります。

（連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用）

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」（令和2年法律第8号）において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号 2020年3月31日）第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日）第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

（セグメント情報等）

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ゴルフ事業	メタルスリ ーブ事業	鍛造事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	2,786,861	527,908	2,500,599	5,815,369	—	5,815,369
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,786,861	527,908	2,500,599	5,815,369	—	5,815,369
セグメント利益又は損失（△）	292,045	△66,409	△7,676	217,958	△288,892	△70,933

（注） 1. セグメント利益又は損失の調整額△288,892千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△288,892千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「ゴルフ事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、504千円であります。

「メタルスリーブ事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、494千円であります。

各セグメントに配分していない全社資産において、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、8,669千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ゴルフ事業	メタルスリ ーブ事業	鍛造事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	4,523,695	803,025	4,057,871	9,384,592	—	9,384,592
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,542	—	—	3,542	△3,542	—
計	4,527,237	803,025	4,057,871	9,388,134	△3,542	9,384,592
セグメント利益	1,119,362	105,997	512,014	1,737,374	△368,995	1,368,379

（注） 1. セグメント利益の調整額△368,995千円には、セグメント間取引の消去△3,542千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△365,453千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。